



寿地区

町会 夏の行事特集



百瀬町会

●盆踊り
8月14日



初めての浴衣姿、似合っているでしょ♪
正念寺境内にて。

下瀬黒町会

●青山様・ほんぼん
8月3日、4日

小学生27名と保護者が参加して行われました。2日間夕方から町内およびグループホームなごみを訪問しました。

なごみの利用者のみなさんは毎年楽しみに待っていてくれます。児童が少なくなり、神輿も3台を1台に減らすなどして実施しています。



●第19回盆踊り大会
8月14日



悪天候のため、公民館で夏祭りを開催。200人を超える参加がありました。

白川町会

世帯数 5,879戸
人口 14,566人
(平成26.9.1現在)

小池町会

●納涼祭
8月14日

太鼓演奏や、露店などで賑わいました。



●納涼夏祭り
8月3日

竹瀝町会



竹瀝祭囃子保存会の太鼓演奏や、かき氷などの露店が並びました。

第37回 寿地区文化祭

出展 ステージ発表者 募集!

11月8日(土)、9日(日)に寿地区文化祭が開催されます。自分の趣味・特技の発表の場、地域で活動する団体・サークルの発表の場、住民同士の交流の場として行われます。たくさんのご応募をお待ちしています。

●お問い合わせ ●
寿公民館
5812038



●●●夏休み子ども企画●●● 流し素麺会開催



8月6日に寿公民館の敷地内で、夏休みの子ども向けの企画として流し素麺会を開催しました。白姫町会の方から竹を提供いただき、福祉ひろばの鉋の会や、ボランティアの皆さんの協力で、暑い中涼しく、美味しくいただくことができました。今ではなかなかできない体験、子どもたちの夏休みのいい思い出になったかと思えます。

伏参道に
堂(牛
は、絵
ます
た)ま
きまし
いただ
意して
文化財
青木教
コース
町会・
りなが
コース
文化財
意して



かつての牛伏寺参詣道があった閻魔堂跡



赤木下の宮

近くには、縄文晩期の「エリ穴遺跡」もあり古代は随分繁栄した所ようです。次に、赤木下の宮へ向かい



小池堤

「寿を知らう!」ふれあいウォーキングに参加して



ウォーキングのようす

9月4日(木)寿福祉ひろば・寿公民館共催の、「ふれあいウォーキング」が開催されました。50名の参加者が集合し、松本大学の学生の指導のもとストレッチを行い、出発しました。今回は、寿南コースで小池町会・赤木町会の史跡をめぐりながらの往復約8キロのコースです。史跡案内人は、青木教司先生です。(立派な文化財案内のプリントもご用意して)

あつた閻魔堂跡)へ。ここにあった仏像は現在、牛伏寺奥殿に安置されているとのことでした。次の小池神社へ移動する途中、断層帯がありそこから水が流れ出ている所を通って行きました。現在の小池神社には、鳥の宮と雀の宮が合祀され本殿が2つあります。次は宝蔵寺跡を通って、小池堤へ向かいます。小池堤の北東には、小池遺跡があり、9世紀ころの大規模な遺跡が発掘されました。(現在の小池団地と呼ばれてい



参加者のみなさん 小池神社にて

る所) 近くには、縄文晩期の「エリ穴遺跡」もあり古代は随分繁栄した所ようです。次に、赤木下の宮へ向かい



赤木北城があった場所

ます。ここには、赤小学校校跡碑が建っています。寿小学校が現在地に統合設立されるまで、赤木と小池の子どもたちが通った学校があった場所に記念碑が建てられました。次は、赤木北城跡へ向かいます。途中、「先行性河流」の北洞川を渡って、急な斜面を登って城跡へ行きます。三面の空堀と北洞川が作った断崖で囲まれた城跡です。赤木山の東側と西側には断層線が走っており、この断層線に挟まれた赤木山は6千万年から隆起し続けていると考えられています。この赤木山を東西に貫いて3本の川が流れています。この川を先行性河流と言って、全国にも有名な川のようなので、最後に、赤木山弘長寺へ向

かいます。寺伝によると、鎌倉時代が創建のようで、火災等により、現在地に移されたとのこと。現在は信濃あじさい寺としても有名で60種千株が植えられています。神社仏閣の史跡だけでなく、自然が作った地理跡地も見ることが出来、有意義なウォーキングでした。因みに、私の万歩計は、約1万2200歩を示していました。1歩70センチとして約8500メートルを歩いたことになりました。普段から歩くことが大切だと感じました。機会があれば次回も参加したいですね。(館報委員 清水壽雄)

時の流れ 「西友寿店閉店」

平成6年7月22日に開店し、当時の寿公民館報にも「変わりゆく寿」として掲載された西友寿店がちょうど20周年を迎えた本年3月31日に閉店しました。寿地区を中心に住民の台所として、利用されてきました。

近年は一時の隆盛がなく、24時間営業も、多くの来店には結びつかなかったのかもかもしれません。

しかし、近所の住民、特にお年寄りには近くて便利な店として親しまれてきたのは事実であり、不便に感じる方も多いと思います。

近年、「買い物難民」なる言葉が言われていますが、確かに車社会の現在、大きな駐車場を有した大型店があり、現役世帯には便利な時代ですが、移動手段が限られた高齢者世帯には近くに小売店がないのは難儀なことだと思います。

若い世帯もいつかは高齢者世帯になるのですから一考が必要でしょうか?



西友の跡地のようす